平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語3			授業コード	A027713
担当教員名	吉川　知子			科目ナンバリングコード	A20307
配当学年	2, 3, 4	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修生は全てプレースメントテスト(レベルチェックテスト)を受験しそのスコアに従って決められた講義に出席する。				
受講心得	講義スタイルではなくタスクを実際に行うことにより進んでいく授業スタイル。毎回完全参加型で評価も参加意欲に重点を置いている。				
教科書	プリント				
参考文献及び指定図書					
関連科目					

授業の目的	英語をコミュニケーションのためのツールとして実際に使う事を目的としている。英語を知識としてとらえるのではなく手段として使いこなすこと、更にナチュラルスピード(ネイティブが話す速度)またはナチュラルイングリッシュ(ネイティブ間で話される英語)に近い形のリスニングをこなすことによるTOEICのリスニングパートへの準備的要素を含む。□
授業の概要	リスニング強化のためのクラス。英語の4スキルの中でも特にコミュニケーション力の基礎となり、重要な要素であるリスニングを細部に渡ってではなく全体像をとらえられる様な練習が毎回メインになります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : Placement Test	
第 2 週 : 英語3の受講心得等の説明など	
第 3 週 : No.1 How much is a bus ticket? Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第 4 週 : No.1 How much is a bus ticket? Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / Basic Grammar 疑問詞	
第 5 週 : No.9 I'm Starving Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第 6 週 : No.9 I'm Starving Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / Basic Grammar 進行形	
第 7 週 : mid-term test	
第 8 週 : No.2 May I use your phone?	

Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第 9 週 : No.2 May I use your phone? Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / 許可	
第10週 : No.10 Do you have anything cheaper? Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第11週 : No.10 Do you have anything cheaper? Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / 形容詞	
第12週 : No.12 Where's the nearest subway station? Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第13週 : No.12 Where's the nearest subway station? Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / 序数	
第14週 : No.5 Welcome aboard Vocabulary / 1st Challenge, 2nd Challenge / Greetings	
第15週 : No.5 Welcome aboard Vocabulary / 3rd Challenge / Greetings / 副詞	
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	それぞれのわからない単語、文法、表現等を自主的に習得しようとする態度が必要。
【知識・理解】	講義内で学んだものを定着させる。
【技能・表現・コミュニケーション】	わかる、わからないなどの意思表示、積極的な質問等でコミュニケーションを図る。
【思考・判断・創造】	自主的に考えそれを他の学生とシェアする。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等(テスト)**	**レポート・作品等(提出物)**	**発表・その他(無形成果)**	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**50点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**20点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**10点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	わからない箇所について自分なりに理解しようとしている態度が見えるか。
発表・その他（無形成果）	講義に積極的に参加し、基本的に毎回講義に出席していること、発言すること。